

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>	住宅市場技術基盤強化推進事業		<b>担当部局庁</b>	住宅局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	H23/H25		<b>担当課室</b>	住宅生産課		課長 橋本公博		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	2 住宅の取得・賃貸・管理・修繕が円滑に行われる住宅市場を整備する				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	住宅市場整備推進等事業費補助金交付要綱				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	質の高い住宅ストック形成を推進するための長寿命化や既存住宅活用の促進等の住宅・建築行政上の諸課題に対応するため、民間事業者の知見・ノウハウを活用して、良質な住宅等が適正な価格で供給される市場環境整備のための先導的な技術開発等、技術的基盤の強化等に対して支援を行い、住宅等の生産、供給、管理等に係る市場基盤の形成を総合的に推進する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	1) 先導的な技術開発等に関する事業 ・工法、要素技術などの開発 ・リフォームなど特殊な条件下の施工技術の開発 ・廃棄物削減に資する施工技術等の開発 ・評価・検査技術の開発 ・建材・資材の流通システムや生産工程の合理化、低コスト化に関する開発 ・住宅の質等に関する新しいニーズに対応した計画技術に関する開発 ・技術開発のロードマップ作成等 2) 技術的基盤の強化等に関する事業 ・情報発信、情報提供のための講習会・シンポジウムの実施等 ・相談体制の整備等							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	0		
		繰越し等	-	-	-	0		
		計	-	-	-	1,462	1566	
	執行額	-	-	-	-	-	-	
	執行率 (%)	-	-	-	-	-	-	
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (32年度)
	(1)住宅の利活用期間	成果実績	年	27				40
	①減失住宅の平均築後年数	達成度	%	68				
	(1)住宅の利活用期間	成果実績	%	7 <sup>(H15~20年)</sup>				6 <sup>(H27~32年)</sup>
	②住宅の減失率	達成度	%	-				
	(2)リフォーム実施戸数の住宅ストック戸数に対する割合	成果実績	%	3.5 <sup>(H16~20年平均)</sup>				6
		達成度	%	58				
	(3)既存住宅の流通シェア	成果実績	%	14				25
	達成度	%	56					
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	民間事業者等より公募した採択事案件数		活動実績 (当初見込み)	件			( )	(73)
<b>単位当たりコスト</b>	20(百万円/採択1件あたり)		算出根拠	①平成23年度採択見込み件数:73件 ②平成23年度当初予算額:1,462百万円 ②/①=(1,462百万円)÷(73件)=20(百万円/件)				
<b>平成23・24年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	(項)住宅市場整備推進費							
	(事項)住宅市場の環境整備の推進に必要な経費							
	(目)住宅市場整備推進等事業費補助金	1,462	1566					
	計	1,462	1,566					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>過去の類似事業の行政事業レビューにおける予算監視・効率化チームの所見のご指摘等を踏まえ、既存制度において制度目的が類似している事業の整理統合を行い、本事業において、長寿命化に向けた良質な住宅投資の促進、既存住宅流通・リフォーム市場の活性化、省エネ基準の義務化に向けた取組みなど、喫緊の住宅政策課題に事業内容を重点化した。また、5月に実施した平成23年度の公募においても、これらの喫緊の政策テーマに重点化して民間事業者等の提案を採択し、政策目的達成に向けて効率的な予算執行となるよう見直しを行っているところ。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</p>			
<p>補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</p>			

※平成22年度実績を記入

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					